

# 施工企業に対するアンケート調査結果

## 調査概要

- 調査目的

- ①情報化施工技術の普及状況の実態把握(民間工事を含む)
- ②適用可能な工種や条件の把握

- 調査対象技術

MC, MG, TS出来形管理, TS・GNSSを用いた締固め管理

- 調査対象者：827社 回答179社(H22.3.17時点)

社団法人 日本建設機械化協会, 社団法人 日本土木工業協会,  
社団法人 日本道路建設業協会, 社団法人 日本機械土工協会, の会員

- 調査対象

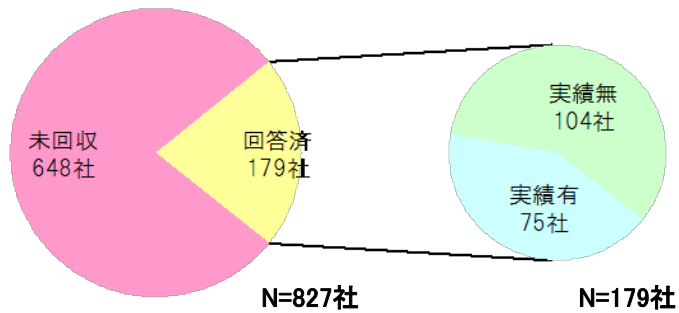
過去5年間での実績(H17年度～21年度)

- 調査方法

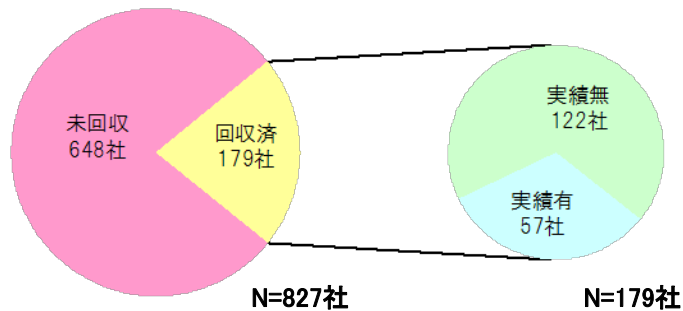
アンケート方式によるデータ収集

# 情報化施工の実績

## I. 過去5年間での実績

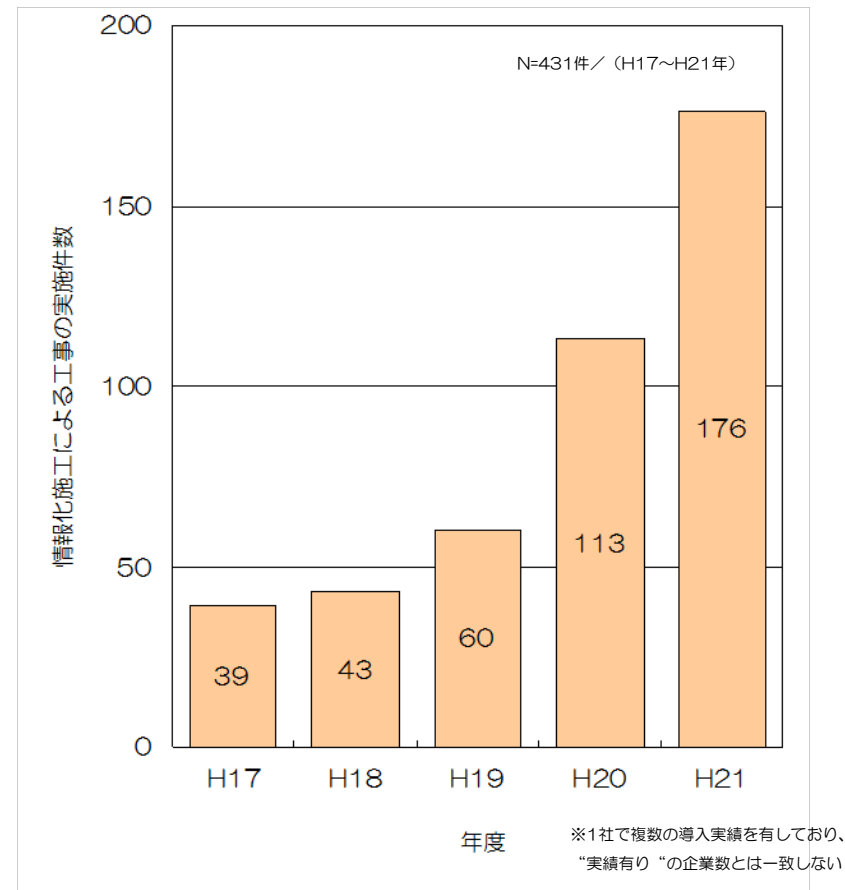


## II. 平成21年度の実績



## III. 年度別実績の推移

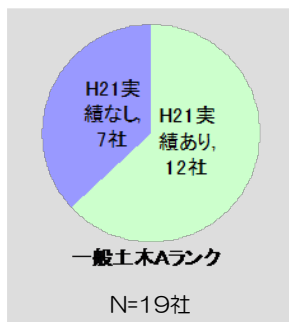
過去5年間で実績ありと回答した75社の導入件数推移



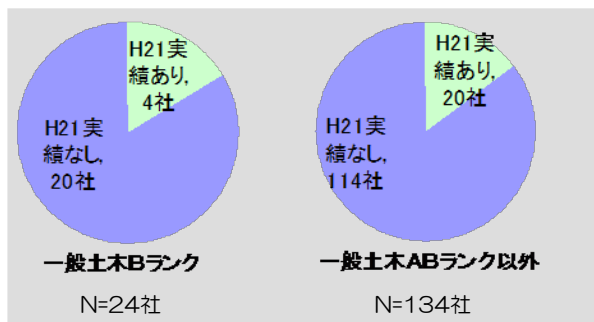
**H19年度以降、毎年2倍程度の増加傾向**

# H21年度の情報化施工の実績（一般土木）

## I. 177社（回答179社から、舗装工のみを対象とする2社を除く）のランク別実績



【一般土木A】  
約6割の企業が  
実績を有する



【一般土木A以外】  
約2割の企業が  
実績を有する

	Aランク (19社)	Bランク (24社)	ABラン ク以外 (134社)	技術別の 導入件数
ブルドーザや油圧ショベル等のマシンガイダンス技術	13	1	13	27
モータグレーダやブルドーザ等のマシンコントロール技術	0	1	10	11
TS・GNSSを用いた出来形管理技術（河川土工／道路土工）	0	5	17	22
ローラの軌跡管理による面的な品質管理技術（締固め）	22	2	23	47
振動ローラの加速度応答による面的な品質管理技術	9	0	2	11
その他	4	0	4	8
ランク別の導入技術件数	48	9	69	126

※1件の工事で複数の技術を導入しており、H21年度の実施件数（176件）とは一致しない

### 工事の参加資格区分（一般土木）

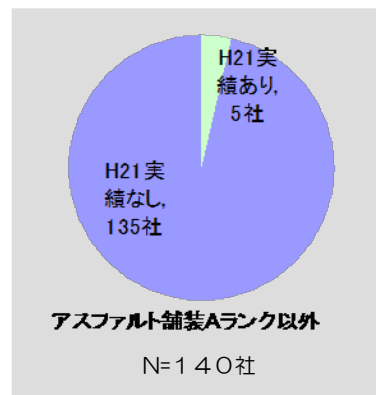
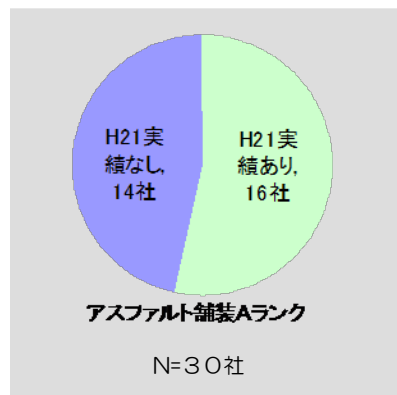
等級区分	予定価格
A	7.2億円以上
B	3.0億円以上～7.2億円未満
C	0.6億円以上～3.0億円未満
D	6000万円未満

◎一般土木Aランクでは締固め管理システムの導入が進んでいる

◎一般土木ではマシンコントロールの導入例が少ない

# H21年度の情報化施工の実績(As舗装)

## Ⅱ. 170社(回答179社から、一般土木のみを対象とする9社を除く)のランク別実績



	Aランク (30社)	Aランク 以外 (140社)	技術別の 導入件数
モータグレーダやブルドーザ等のマシンコントロール技術	81	4	85
ローラの軌跡管理による面的な品質管理技術(締固め)	7	3	10
ランク別の導入技術件数	88	7	95

工事の参加資格区分 (アスファルト舗装工事)

等級区分	予定価格
A	1.2億円以上
B	0.5億円以上～1.2億円未満
C	5000万円未満

※1件の工事で複数の技術を導入しており、H21年度の実施件数(176件)とは一致しない

- ◎アスファルト舗装Aランクではマシンコントロールの導入が進んでいる
- ◎アスファルト舗装B以下では、情報化施工技術の実績が少ない